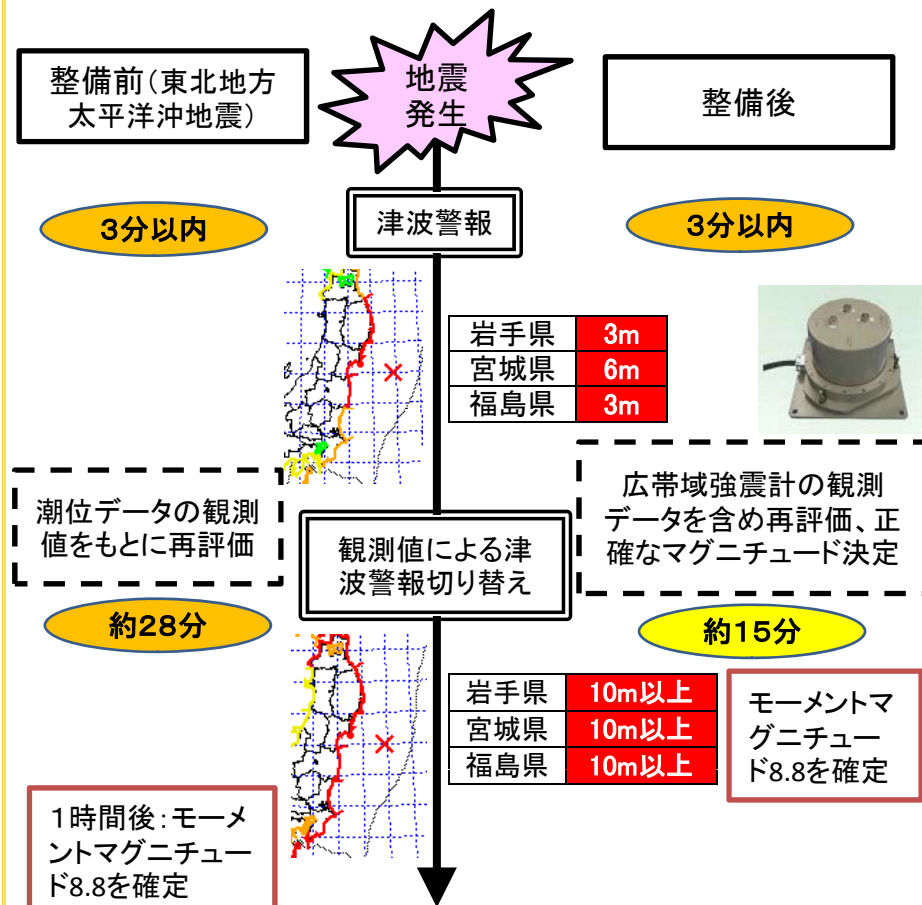


巨大地震・津波に対する観測・監視体制の強化 (平成23年度補正予算)

広帯域強震計による巨大地震の規模の早期把握

○巨大地震の規模を正確に見積もり、津波の高さを予測するため巨大地震(強震動)でも振り切れない広帯域強震計を全国80地点に整備。

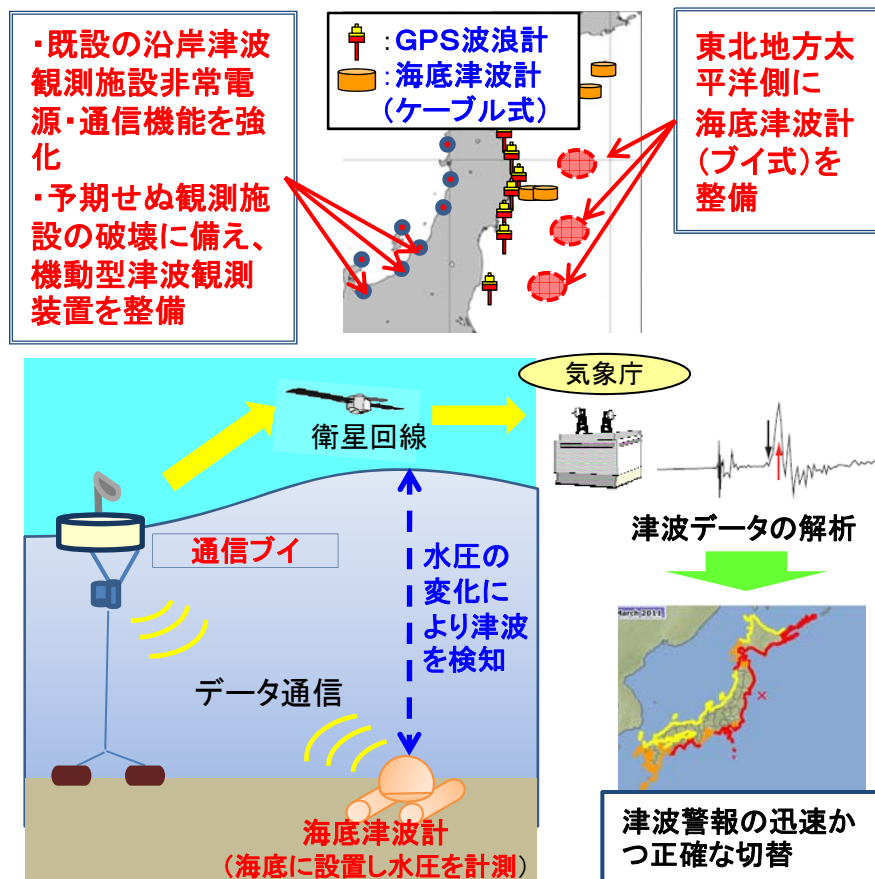


巨大地震発生時においても振り切れることなく観測可能な広帯域強震計による解析を行うことにより、地震の規模を早期に把握(15分程度)し、津波が沿岸部に到達する前に適切な津波警報を発表可能。

津波観測施設の強化

○沿岸に押し寄せる津波の高さを正確に予測し、津波警報の迅速かつ正確な切替を行うため、東北地方の太平洋側沖合に海底津波計(ブイ式)を整備し、沖合における津波観測を強化。

○到達した津波の観測情報を確実に提供するため、全国の既設津波観測施設の非常電源・通信の強化等を実施し、沿岸における津波観測を強化。



沿岸から沖合までの津波監視体制を強化することにより、第2波、第3波を含め、より迅速かつ正確な津波の高さの予測が可能。